



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月1日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,724	21.3	372	6.6	382	4.1	186	△16.2
28年3月期第1四半期	5,542	10.8	349	73.4	367	78.6	222	99.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 151百万円 (△37.1%) 28年3月期第1四半期 241百万円 (102.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.99	—
28年3月期第1四半期	7.15	—

(注) 当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	16,914	10,300	60.9	331.01
28年3月期	17,936	10,771	60.1	346.14

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 10,300百万円 28年3月期 10,771百万円

(注) 当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成28年3月期については、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,380	18.7	1,220	△4.7	1,230	△5.8	710	△26.5	22.81
通期	31,370	17.9	3,680	12.3	3,700	11.3	2,410	4.5	77.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	31,121,520 株	28年3月期	31,121,520 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,605 株	28年3月期	1,605 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	31,119,915 株	28年3月期1Q	31,120,074 株

(注) 当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTNetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、個人消費が実質所得の伸び悩みや節約志向の高まりから低調に推移しており、お客様の商品・サービスに対する選別の目は、厳しさが一段と増す状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、2015年度に掲げた経営スローガン『ワールド サプライジング リゾート宣言 (WSR) ～世界へ、ありえない驚きの、超感動を提供する～』の更なる推進を図るため、2016年度は『WSR² (ダブルエスアール・ダブルエスアール)』を経営スローガンに掲げ、当面の重点施策であります、インバウンド対策の強化、海外展開、首都圏でのWSR化展開の推進、プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,724百万円（前年同期比21.3%増）、営業利益は372百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益は382百万円（前年同期比4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は186百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

なお、平成28年2月より株式取得により連結の範囲に含めました株式会社フランセは、事業の特性による季節的な変動により、上半期の業績は下半期に比べ著しく低調な傾向にあります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

前連結会計年度中において行われた組織再編に伴い、従来、独立セグメントとしておりました「寿製菓」、「但馬寿」を統合し、「寿製菓・但馬寿」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織再編後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、前年同四半期の算定方法につきましても当四半期の区分に組み替え後の数値に基づいて算定しております。

① ケイシイシイ

ケイシイシイは、「ルタオ」ブランドでの国内主要国際空港における展開強化などインバウンド対策に注力したほか、アジア圏における海外展開の推進、イベント開催などによる道内店舗での販売強化に努めました。その結果、売上高は、2,004百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は155百万円（前年同期比75.4%増）となりました。

② 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、グループ各社及び代理店との連携強化による新商品開発の推進、主力商品の拡販などの売上増大に向けた対策を推進するとともに、地元山陰では発売50周年を迎える名菓「因幡の白うさぎ」及びモンド・セレクション6年連続最高金賞受賞の「白ウサギフィナンシェ」の販売強化、「遊月亭の黒豆茶」の通信販売などに注力しました。その結果、売上高は2,172百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は175百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

③ 販売子会社

販売子会社は、東海地区の「小倉トーストラングドシャ」など、主力商品の拡販に努めるほか、地域特性にマッチした新商品開発に注力いたしました。また、関西地区では「京都ヴェネト」及び「コンディトライ神戸」ブランドで関西国際空港を中心にインバウンド対策を推進いたしました。その結果、売上高は1,150百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は53百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

④ シュクレイ

シュクレイは、「ザ・メープルマニア」をはじめとする各ブランドの知名度向上を図るため、ポップアップショップ（期間限定店舗）展開の推進、既存店舗における販売力の強化などに注力いたしました。新ブランドでは、東京・JR新宿駅南口NEWoman（ニューマン）に「Butter Butler（バターバトラー）」を、東京・南青山に「GENDY（ジェンディー）」を平成28年4月にそれぞれ新規出店いたしました。その結果、売上高は1,044百万円（前年同期比38.3%増）となり、営業利益は95百万円（前年同期比67.4%増）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、熊本地震の影響による長崎・佐世保地区の落ち込みを挽回すべく、発売65周年を迎えた「九十九島せんべい」の販売強化などに注力いたしました。また、フレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」では、首都圏を中心の期間限定のテイクアウトショップを出店するなど、知名度の向上に注力いたしました。その結果、売上高は746百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は41百万円（前年同期は営業利益2百万円）となりました。

⑥ フランセ

フランセは、工場ラインの統合・改修、ブランド再構築など経営の抜本的な見直しを推進いたしました。商品面では、期間限定の新商品「レモンをたのしむミルフィユ」及び「木苺をたのしむミルフィユ」を発売し、販売強化に努めました。その結果、売上高は704百万円、営業損失は123百万円となりました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれており、売上高は61百万円（前年同期比26.3%増）となり、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、16,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,021百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金の減少（523百万円）、受取手形及び売掛金の減少（830百万円）、商品及び製品の増加（122百万円）、流動資産におけるその他の増加（168百万円）などの要因によるものです。

負債は6,614百万円となり、前連結会計年度末に比べ551百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（169百万円）、未払法人税等の減少（609百万円）、賞与引当金の減少（228百万円）、長期借入金の減少（92百万円）、流動負債におけるその他の増加（551百万円）などの要因によるものです。

純資産は10,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ470百万円減少いたしました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加（186百万円）、配当金の支払いによる減少（622百万円）、その他有価証券評価差額金の減少（23百万円）などの要因によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加の60.9%となり、1株当たり純資産は331円01銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回公表数字（平成28年5月12日付「平成28年3月期決算短信」）からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更が、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,453,975	2,930,204
受取手形及び売掛金	3,222,671	2,392,235
商品及び製品	784,260	906,413
仕掛品	102,378	78,639
原材料及び貯蔵品	399,706	441,982
その他	567,348	736,027
貸倒引当金	△13,494	△12,720
流動資産合計	8,516,844	7,472,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,206,030	3,189,206
機械装置及び運搬具(純額)	1,291,109	1,274,491
工具、器具及び備品(純額)	316,277	338,187
土地	3,084,438	3,084,438
リース資産(純額)	12,552	11,370
建設仮勘定	5,967	89,501
有形固定資産合計	7,916,373	7,987,193
無形固定資産	103,840	97,342
投資その他の資産		
その他	1,426,846	1,384,387
貸倒引当金	△27,178	△26,748
投資その他の資産合計	1,399,668	1,357,639
固定資産合計	9,419,881	9,442,174
資産合計	17,936,725	16,914,954
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,051,729	881,823
短期借入金	720,000	720,000
1年内返済予定の長期借入金	385,202	370,392
未払法人税等	818,360	209,311
賞与引当金	520,876	292,728
ポイント引当金	17,468	19,171
その他	1,305,195	1,857,067
流動負債合計	4,818,830	4,350,492
固定負債		
長期借入金	1,072,912	980,314
退職給付に係る負債	1,024,802	1,045,864
その他	248,479	237,335
固定負債合計	2,346,193	2,263,513
負債合計	7,165,023	6,614,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	8,211,217	7,775,305
自己株式	△785	△785
株主資本合計	10,751,393	10,315,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,008	1,274
為替換算調整勘定	△4,699	△15,806
その他の包括利益累計額合計	20,309	△14,532
純資産合計	10,771,702	10,300,949
負債純資産合計	17,936,725	16,914,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,542,092	6,724,367
売上原価	2,594,631	3,074,675
売上総利益	2,947,461	3,649,692
販売費及び一般管理費	2,597,834	3,277,051
営業利益	349,627	372,641
営業外収益		
受取利息	45	50
受取配当金	2,291	2,497
受取地代家賃	4,011	5,035
受取補償金	7,581	—
持分法による投資利益	—	4,102
その他	10,190	5,471
営業外収益合計	24,118	17,155
営業外費用		
支払利息	3,755	3,495
その他	2,072	3,363
営業外費用合計	5,827	6,858
経常利益	367,918	382,938
特別利益		
投資有価証券売却益	1,809	—
固定資産売却益	80	41
特別利益合計	1,889	41
特別損失		
固定資産売却損	2,144	—
固定資産除却損	8,438	5,271
特別損失合計	10,582	5,271
税金等調整前四半期純利益	359,225	377,708
法人税等	136,788	191,222
四半期純利益	222,437	186,486
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,437	186,486

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	222,437	186,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,089	△23,734
為替換算調整勘定	11,592	△11,107
その他の包括利益合計	18,681	△34,841
四半期包括利益	241,118	151,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,118	151,645

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	ケイシー シイ	寿製菓・但 馬寿	販売子会社	シュクレイ	九十九島 グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,658,323	1,254,170	1,123,362	755,118	703,649	5,494,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	223,098	769,991	1,411	—	88,927	1,083,427
計	1,881,421	2,024,161	1,124,773	755,118	792,576	6,578,049
セグメント利益 (△は損失)	88,818	124,018	50,644	56,932	2,510	322,922

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	47,470	5,542,092	—	5,542,092
セグメント間の内部 売上高又は振替高	931	1,084,358	△1,084,358	—
計	48,401	6,626,450	△1,084,358	5,542,092
セグメント利益 (△は損失)	△12,856	310,066	39,561	349,627

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額39,561千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額208,368千円、セグメント間取引消去額3,655千円、たな卸資産の調整額△2,109千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,353千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓・但 馬寿	販売子会社	シュクレイ	九十九島 グループ	フランセ	計
売上高							
外部顧客への売上高	1,790,661	1,319,405	1,146,506	1,044,563	657,777	704,477	6,663,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	213,619	852,748	3,748	—	88,952	—	1,159,067
計	2,004,280	2,172,153	1,150,254	1,044,563	746,729	704,477	7,822,456
セグメント利益 (△は損失)	155,796	175,409	53,946	95,288	△41,329	△123,940	315,170

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	60,978	6,724,367	—	6,724,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	163	1,159,230	△1,159,230	—
計	61,141	7,883,597	△1,159,230	6,724,367
セグメント利益 (△は損失)	△12,941	302,229	70,412	372,641

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額70,412千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額231,788千円、セグメント間取引消去額12,024千円、たな卸資産の調整額△7,267千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,133千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度中において行われた組織再編に伴い、従来、独立セグメントとしておりました「寿製菓」、「但馬寿」を統合し、「寿製菓・但馬寿」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織再編後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。